

令和5年10月13日

保護者各位

鳥栖市立基里中学校  
校長 中山 孝史

## 令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

### 1 令和5年度全国学力・学習状況調査について

令和5年4月18日、下記のような内容で全国一斉に中学校3年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、数学、英語）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
調査問題では、①と②が一体的に問われています。
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

### 2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校生徒の姿

#### (1) 国語について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を上回っていました。
- ・すべての評価の観点においても、全国の平均正答率を上回っていました。その中でも「話すこと・聞くこと」については、全国平均正答率を上回っていました。
- ・「書くこと」については、全国平均を若干下回っており、課題が見られました。
- ・問題形式においても、「選択式」「短答式」「記述式」とも、全国の平均正答率を上回っており、まんべんなく力をつけていることがわかりました。

#### (2) 数学について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を大きく上回っていました。
- ・すべての評価の観点においても、全国の平均正答率を上回っていました。その中でも「データの活用」については、全国平均正答率を大きく上回っていました。
- ・「図形」の領域では、全国平均を下回っており、課題が見られました。
- ・問題形式においては、「短答式」「記述式」は、全国の平均正答率を上回っていましたが、「選択式」については、全国の平均正答率を下回っており、課題が見られました。

#### (3) 英語について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を上回っていました。
- ・すべての評価の観点においては、全国の平均正答率と同程度でした。しかし、「聞くこと」「読むこと」については、全国の平均正答率を下回っており、課題が見られました。

- ・「書くこと」については、全国平均正答率を大きく上回っていました。
- ・「話すこと(やり取り)」については、全国平均正答率を上回っていましたが、「話すこと(発表)」については、全国平均正答率を下回っており、課題が見られました。

### 3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果から見える本校生徒の姿

- ・「朝食」については、本校は76.2%の生徒が毎日食べていると回答しておりましたが、全国平均より2.4%下回っていました。
- ・「起床時間」については、いつも同じ時間に起きていると回答した本校生徒の割合は61.9%と回答しており、全国平均より7.1%上回っていました。
- ・「地域の行事への参加」については、参加している、どちらといえば参加していると回答した本校生徒の割合は66.6%と全国平均より28.6%も上回っていました。
- ・「将来の夢や目標を持っていますか」については、持っているとして回答した本校生徒の割合は、52.4%となり、全国平均より13%も上回っていました。
- ・平日の一日当たりの勉強時間について2時間以上行っている本校生徒の割合は、23.8%となり、全国平均より9.9%低い結果となり課題が見られました。

### 4 今後の改善策（生徒の力をさらに伸ばすために）

- ・「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」という質問に、当てはまる、どちらかという当てはまると回答した本校生徒は100%でした。これは、教員と生徒の関係性が良好という証だと考えられます。これからもこの信頼関係を崩さぬようにきめ細やかな指導を心掛けます。
- ・今回の調査で課題となった国語の「書くこと」、数学の「図形」、英語の「聞くこと」「読むこと」については、さらなる分析を行ったうえ、集中的に取り扱っていきます。
- ・各教科において、電子黒板やタブレット等を活用して内容を視覚的に捉えさせる等の授業のユニバーサルデザイン化に、より一層取り組みます。

- ・ご家庭でも次のようなことを心がけてください。

#### 1 家庭学習の環境について

- ◎学習する時間や時間帯を自分で計画し実行していくことで、学習習慣を身に付けさせ家庭学習時間を増やしていきましょう。
- ◎スマートフォンやタブレットの使用時間を決め、長時間にならないようにしましょう。
- ◎今まで行ったテスト問題の復習を中心とした自主学習に取り組ませましょう。

#### 2 生活習慣について

- ◎「朝食」や「起床時間」などの基本的な生活習慣は身に付いている生徒が多く見られますので、これを継続していきましょう。
- ◎自分で考え自分から行動できるように、お子さんの自主性を尊重していきましょう。
- ◎お子さんが、がんばったことや良くできたことを、積極的にほめていきましょう。